

「慰安婦」が記憶からも消される！！

安倍政権「教育再生」の 恐るべき実態

中学歴史教科書に「慰安婦」記述の復活を求める市民連絡会では、8回にわたり「慰安婦」問題をどう教えるか—授業実践シリーズを開催し、大変好評をいただきました。厳しい教育現場で苦勞されながらの貴重な実践に、胸を熱くし、生徒さんたちの真っ直ぐな思いにも触れて、勇気をもらいました。今回からは緊急に3回の連続セミナーを開きます。第1回目は歴史教育者協議会前委員長の石山久男さんにお話しいただきます。

安倍内閣の教育再生実行会議が提言する施策は、教育を権力統制し、子どもに愛国心を植え付ける恐ろしい内容です。これらの提言は自民党の教育再生実行本部の5つの分科会の論議が骨格ですが、ここには当初の本部長下村博文氏（現文科大臣）をはじめ座長の山谷えり子氏や義家弘介氏など、「慰安婦」の強制を否定する「日本の前途と歴史教育を考える議員の会」やスターレジャー紙の意見広告に名を連ねた議員らが顔を揃えています。

「教育再生」の施策が通れば採択どころか教科書の「慰安婦」記述は中高とも大幅に消え、「慰安婦」を教える教師は排除されるという状況が加速することは必至です。今、「慰安婦」問題を巡って何が起こっているのか？ セミナーでは、安倍政権の恐るべき「教育再生」の実態を学びます。この機会を逃さないよう、ぜひ、ご参加ください！！

日時： 2013年6月13日(木)18:30～

講師： 石山久男さん (プロフィールは裏面参照)

会場： 早稲田大学 22号館 6F 619号室

国際会議場の斜向かい・黄色い建物

(<http://www.waseda.jp/jp/campus/waseda.html>)

【交通案内】地下鉄東西線早稲田駅下車7分・バス西早稲田下車5分

★資料代： 500円



石山久男さん

主催： 中学歴史教科書に「慰安婦」記述の復活を求める市民連絡会

【構成団体】 アクティブ・ミュージアム「女たちの戦争と平和資料館」(wam)、アジア女性資料センター、「慰安婦」問題解決オール連帯ネットワーク、「戦争と女性への暴力」リサーチ・アクションセンター(VAWW RAC)、男女平等をすすめる教育全国ネットワーク、中国人「慰安婦」裁判を支援する会

問い合わせ： パウラック Tel 03-3818-5903